

# ベアラチャネル削除によるセルラーフラップのトラブルシューティング

## 内容

[概要](#)

[問題](#)

[解決方法](#)

## 概要

このドキュメントでは、ベアラチャネルの削除によってセルラーIPがフラップし続ける状況をトラブルシューティングする方法について説明します。セルラーのパフォーマンスには影響が見られませんが、エラーメッセージが表示され、セルラーは引き続き異なるIPアドレスを取得します。これは、セルラー接続が不安定な場合や、トラフィックを通過させるためにわずかな遅延を引き起こす可能性があることを示している可能性があります。

## 問題

セルラーインターフェイスは、プライマリまたはバックアップ接続として使用できます。常にセットアップを行う必要がある場合もありますが、Internet Service Provider (ISP ; インターネットサービスプロバイダー) がセルラーインターフェイスのフラップを継続するトラフィックを検出しない場合、ベアラチャネルを削除する可能性があります。

次のエラーメッセージが表示されます。

```
"%CELLWAN-2-BEARER_DELETED:Cellular0のインスタンスid=0、デフォルトベアラ (bearer_id=5)が削除されました。"
```

これらのセルラーフラップは、トラフィックがセルラーから渡されるときにセルラー接続が安定するため、パケット損失を引き起こしませんが、モニタリングツールが接続が不安定であると判断する可能性があります。

## 解決方法

この状況を回避するには、セルラーに強制的に何らかのデータを継続的に送信させ、トラフィックが継続しているとISPに認識させ、ベアラチャネルを削除しないように強制します。これは、次の設定を使用して、デバイス上でIP Service Level Agreement(SLA)を使用して実行できます。

```
ip sla 1  
icmp-echo 10.1.1.1 source-interface Cellular <x>  
frequency 5  
exit
```

```
ip sla schedule 1 life forever start-time now  
track 234 ip sla 1 reachability .
```

これが完了すると、ベアラチャネルの削除が確認されないことがわかります。

注：このプロセスはセルラーインターフェイスを介してトラフィックを継続的に送信するため、データの使用に制約がある場合は、データの使用を考慮する必要があります。